



佐藤 幸一 議員

PCR検査費用に 助成措置を

町長 ワクチン接種の早期実施に向けた
取り組みを最優先したい

町長 新型コロナウイルスの無症状の感染者を確認するためには、広くPCR検査を行うことも有効であるが、一度検査を実施してもその時点だけの結果で安心が持続するものではないので、PCR検査費用の助成は考えていない。今は新型コロナウイルスの発症・重症化予防に有効とされるワクチン接種の早期実施に向け、町内医療機関と連携した取り組みを最優先したい。

問 町長は昨年12月定例会において、助成は考えていないとのことであったが、無症状の町民の方が自費で受けるPCR検査費用について、改めて助成措置の確立を求めたいがいかがか。

町長 町内の消費喚起を図るため、本年度に引き続き令和3年度も例年よりプレミアム率の高い商品券として、6月のうきうき商品券30%、10月の地域活性化商品券と2月のうきうき商品券20%の3回発行を行う予定である。予定以上のプレミアム率の引き上げについては今のところ考えていないが、状況によって発行組数を増やすことなども含めて検討していく。



プレミアム付き商品券

町長 一部を飲食店専用とした商品券は、昨年5月に実施した際に飲食業においての商品券利用の割合が21ポイント増と大きな効果があった。今後の専用券の発行は、町内の消費や売り上げの状況をみながら進めていきたい。

町長 購入希望数に近づける予算措置について、令和3年度プレミアム商品券の発行総額は2億9500万円を予定しており、一定の経済効果があると考えている。本年度10月と2月に発行した商品券で、購入希望者が増え、購入制限を行った状況もあるので、購入希望者が希望どおり購入できるよう、商工会と発行組数の追加を含め協議しながら進めていきたい。

問 地域活性化商品券事業についてプレミアム率の引き上げを行う考えはないか。

商品券のプレミアム率を さらに引き上げる考えは 町長 発行数の追加を含め 協議しながら検討する

問 飲食店限定の商品券を発行する考えはないか。

問 購入希望数に近づける予算措置を講ずる考えはないか。



佐藤 幸一 議員 9ページ

- 1 PCR検査費用に助成措置を
- 2 プレミアム付き商品券について



山下 清美 議員 10ページ

- 1 コロナ禍での飲食業等への支援について
- 2 道の駅について
- 3 体育館建設事業について



中河 つる子 議員 11ページ

- 1 新型コロナウイルス感染症の発生を防ぐため立ち向かっている医療・介護施設へ経費の支援を



奥秋 康子 議員 12ページ

- 1 道の駅整備について
- 2 投票時間の見直しについて



深沼 達生 議員 13ページ

- 1 公園の現状と今後について



鈴木 孝寿 議員 14ページ

- 1 役場発注案件における町内事業者への基本的な考え方について
- 2 職員の適正配置について
- 3 無作為抽出における会議体の設置について
- 4 SNS等で行う情報発信について



川上 均 議員 15ページ

- 1 ハラスメント対応と役場内ガバナンスの構築に向けて
- 2 食彩館閉店による町民への影響と今後の対応策は
- 3 清水地区における認定こども園の今後の課題、スケジュール等は
- 4 令和6年度開設予定の介護医療院の設置目的と予定される費用は

町政を問う！

一般質問

3月定例会では、7人の議員が17項目にわたり一般質問を行いました。

※1議員最大3項目まで掲載、質問と答弁は要約し掲載しています。なお、一般質問の全文はホームページでご覧になれます。(3月定例会の内容は、6月末に掲載予定です)

一般質問とは

議員が町政全般に関して、執行機関(町長や行政委員会)にその執行の状況や将来の方針、住民生活に密接に係わる事項等について質問をすることをいいます。

清水町議会では1人の質問時間を答弁も含めて90分以内としています。